

高等教育活性化シリーズ 148 (通算 433 回)

2009 年 8 月 28 日(金)

サブプライム金融危機後の対処——

大学法人の資金運用・管理体制の再構築

～役員会・理事・担当者にとっての点検評価とリスク管理～

- ※ 反省すべきはリターン結果か？／年金基金・米国大学基金に学ぶ“責任ある運用体制”
- ※ 後退か前進かの岐路／運用管理ガバナンスの前提と具体施策／事業計画との連動・統合

● 講師陣 ●

竹子 立弥 氏 / MFS インベストメント・マネジメント(株) ディレクター
 (財)公益法人協会 公益法人資産運用研究会委員

梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデュシヤリー(株)代表取締役
 法人資金運用・管理コンサルタント、非営利法人資金運用研究会事務局長

■ 企画協力 ■ 非営利法人資金運用研究会

2009 年 8 月 28 日(金) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会
高等教育情報センター

日 時：2009 年 8 月 28 日(金) 9:40～16:40
 会 場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口
 から徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込) 47,000 円(消費税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 48,000 円(送料、消費税込)
 C. 非営利法人資金運用研究会員：21,000 円

※ 参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>
 ※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 148

2009 年 月 日

大学法人の資金運用・管理体制の再構築

当日参加

研究会員

メディア参加

(□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

大学法人の資金運用・管理体制の再構築

2009年8月28日（金）

昨今の大学法人の資金運用における失敗は、起こるべくして起こったと言える。それは踏まえるべき重大な前提条件をないがしろにした結果なのである。簡単に言えば、周到なインフラ整備もしないで運用を続けた当然の結末なのである。年金基金・米国大学基金のサブプライム危機後の対処とガバナンスに学びつつ、今後の運用体制の再構築が急務である。

インフラ整備とは形ばかりの規程や委員会を作ることではない。素人運用を卒業する為には、役職員のみならず、理事長のリーダーシップが不可欠なのである。

本セミナーでは、「一体、資金運用管理の前提条件とは何か?」、「法人内での周知徹底の方法はどうしたらよいか?」、「具体的な施策と運営はどのように行うのか?」について分かりやすく解説する。

時間	講義項目
9:40 〃 11:40	<p>□ 年金基金・米国大学基金に学ぶ運用ガバナンス ～受託者として責任ある運用体制の構築～ (株)MFS インベストメント・マネジメント 竹子 立弥</p> <p>1. サブプライム金融危機後の対処 (1) 基本的な視点～リスク資産とポートフォリオ運用の原則から (2) 反省すべきはリターン結果か? (3) リスク管理と説明責任</p> <p>2. 年金基金の運用 (1) 年金運用の意思決定とガバナンス (2) 年金コンサルタントの役割～ナビゲーターの存在 (3) 運用現場の葛藤～その建前と本音</p> <p>3. 米国大学基金の運用 (1) 米国大学基金の運用の実際 (2) 米国大学基金の運用ガバナンス (3) 日本の大学法人が学ぶべき内容 〈質疑応答〉</p>
11:50 〃 13:00	<p>□ 大学法人資金運用管理の前提条件と具体的施策 ～大学資金運用管理の後と前進の岐路に立って～ インディペンデント・フィデューシャリー(株) 梅本 洋一</p> <p>1. 運用管理体制の前提条件とガバナンス (1) 最高意思決定機関と運用管理執行責任者 (2) 執行権限の委任 (3) 事業遂行についての執行責任の自覚 (4) 資金運用管理における基本理念の策定と発信 (5) 必要な権限移譲、盤石な体制整備への発令 (6) 運用管理執行責任者の補佐役の任命 (7) 専門家の活用～素人知識で運用管理させない 〈質疑応答〉</p>
14:00 〃 15:30	<p>2. 運用管理者としての前提条件と運用管理の原理 (1) 運用収入は変化し、思いのままになることはない～単年度、短期収入追及は危険な行為 (2) 必ず何かしらのリスクを許容しなくてはならない (3) 運用管理は中長期的に評価せざるを得ない (4) 分散投資に帰着する～許容するリスクの種類と量を把握する必要 〈質疑応答〉</p>
15:40 〃 16:40	<p>3. 中長期事業計画と資金運用管理計画の連動・統合の工夫 (1) 資金運用管理の基本理念の策定とポイント (2) 資金運用管理規程の策定とポイント (3) 事業計画と資金運用管理を統合する管理表の策定とポイント (4) 資金運用管理は経営を語る 〈質疑応答〉</p>